



オキナワモリバッタ

バッタ科

オスは体長約25mm、メスは約40mm。触角の先端が白色で、沖縄島産は翅が退化して短いのが特徴です。林内に見られ、クワズイモやゲットウなどの葉を食べます。

葉っぱの上で
見かけるよ!



オキナワナナフシ

トガリナナフシ科

体長約120mm。触角が短い大型のナナフシで、オスの体色は褐色型がふつうですが、メスの体色は褐色から緑色までバリエーションに富みます。アカメガシワなどの葉を食べます。



ムラサキオカヤドカリ

ヤドカリ科

海岸から海岸林にかけて見られます。成長すると体の青紫色が強くなり、大きな個体はアフリカマイマイの貝殻に入っているのを見かけます。**国指定天然記念物**



森の中でも
よく見かけるよ!



アオミオカタニシ

ヤマトニシ科

殻径約15mmで「青い身で陸に住むタニシ」が名前の由来。フタをもち、眼は長い触角の根元にあります。体(軟体部)が緑色で、殻は半透明です。主に樹上で生活します。



オキナワウズグモ

ウズグモ科

メスの体長は約5mm。林内のうす暗い環境で、巣の中央に糸で渦巻状の白帯をつけるので、よく目立ちます。この仲間は島ごとに、クメジマウズグモ、ヤエヤマウズグモなどがあります。



オオジョロウグモ

ジョロウグモ科

メスの体長は約45mmで足を広げると20cmを超える、日本で一番大きいクモ。体色は黒色型、赤色型、黒色黄条型があります。森の周辺などで大きな網を張り、クマゼミや時にメジロなどの小鳥もかかることがあります。



オキナワキノボリトカゲ

アガマ科

全長約25cm。オスは体色が緑色でメスにくらべ体が大きく、背中の上ウロコはノコギリの歯のような形をしています。日中、樹上で活動し昆虫など食べます。



クロイトカゲモドキ

トカゲモドキ科

全長約15cm。ヤモリに近いトカゲの仲間。夜行性で昆虫などを食べます。沖縄諸島と徳之島の固有種で、島ごとに体色などが異なり5亜種に分けられています。

県指定天然記念物